

## 海外安全対策情報・令和7年度第1四半期

### 1. 社会・治安情勢

日本と比べてキャッシュレス化が進んでおり、人々が現金を持ち歩かない生活になっていることから、連邦直轄区の街頭犯罪で目立つのは、スマートフォンを狙った犯罪です。

特に、ブラジリア周辺の衛星都市及びブラジリア中心部(プラノピロト地区)、ブラジリア大学付近、パラノア湖周辺施設では、路上強盗のほか、車上ねらい、自動車盗の犯罪が日常的に発生しています。

また、依然として違法薬物に関する犯罪(密売、使用、所持等)は日本と比べて非常に高く、使用者同士の傷害事件なども後を絶ちません。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

連邦区公安局による令和7年4月～6月の犯罪統計によれば、発生件数が多い犯罪について令和6年の同時期と比較すると、路上強盗、乗り物強盗、車上ねらいなどは約15パーセントの減少(4,921件→4,170件)、殺人や殺人未遂の数値は昨年と比べて約13パーセントの減少(205件→178件)が見られました。

減少したとはいえ、路上強盗及び路上窃盗だけをとっても、2023年1年間の日本全国における発生件数が232件なのに対し、ブラジリアだけでわずか3か月間の発生件数が2,353件と、その多さは一目瞭然です。

違法薬物の密売に対する取締りは昨年同時期に比べ約17.5パーセントの増加(651件→765件)が見られましたが、違法薬物の所持・使用に対する取締りは約53.4パーセントの減少(897件→418件)が見られます。

日本人や日系人が多く居住、利用するASA SUL地区においては、携帯電話を目的とする盗難事件が多発していることから、食事や買い物中の携帯電話の所在には十分注意すると共に、路上における携帯電話の使用(いわゆる「歩きスマホ」)は、緊急事態以外では避けてください。

自家用車等を駐車する際は、昼間であっても貴重品等を車内に置いたままにせず、なるべく人目のつく場所に駐車するようにしましょう。

強盗犯罪の特徴として、ほとんどのケースでけん銃やナイフ等の凶器が使用されていますので、抵抗すると生命に危険が及びます。まずは「生命の安全を第一」に考えて行動してください。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件の発生は認知していません。

- 4 誘拐・脅迫事件発生状況  
邦人被害は認知していません。
  
- 5 日本企業の安全に関わる諸問題  
現在、特段の情報はありません。